

科目名 (英)	美容保健 (Health for beauty)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	鈴木 朋美
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	水曜日 1、2、3、4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
2017年～2018年まで2年間美容保健の教員として講義をしている。 美容師国家試験に合格するために、皮膚や皮膚付属器官の構造・機能・疾患について理解し、美容師としての業務を遂行していく上で必要な知識を習得できるようになる。							
【授業を通じての到達目標】							
美容師としての業務を遂行していく上で必要な知識を学び、それを基に自らが主体的に考えることができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
美容保健教科書、シラバス、コマシラバス、練習問題プリント、小テスト							
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 第1章 表皮の構造とその働き 表皮、真皮、皮下組織 表皮(角化細胞、色素細胞、ランゲルハンス細胞) 【到達目標】 第1章 表皮の構造とその働きを理解できる			9	【授業単元】 第5章 皮膚と毛の保護と手入れ 第6章 皮膚の異常と皮膚疾患の原因 【到達目標】 第5章 皮膚と毛の保護と手入れを理解できる 第6章 皮膚の異常と皮膚疾患の原因を理解できる		
2	【授業単元】 第1章 真皮(膠原線維、弾性線維) 皮下組織 各部の皮膚 【到達目標】 第1章 真皮と皮下組織の構造とその働きを理解できる			10	【授業単元】 第6章 ささまざまな皮膚疾患の原因と特徴 (接触皮膚炎、脂漏性皮膚炎、蕁麻疹) 【到達目標】 第6章 ささまざまな皮膚疾患の原因と特徴を理解できる		
3	【授業単元】 第2章 皮膚付属器官としての毛の構造 毛の構造 毛の成長期 毛の性状 【到達目標】 第2章 皮膚付属器官としての毛の構造を理解できる			11	【授業単元】 第6章 ささまざまな皮膚疾患の原因と特徴 (温熱寒冷による皮膚障害、角化異常による皮膚疾患、色素異常による皮膚疾患、 分泌異常による皮膚疾患) 【到達目標】 第6章 ささまざまな皮膚疾患の原因と特徴を理解できる		
4	【授業単元】 第2章 脂腺、汗腺、爪 第3章 皮膚の血管とリンパ管、皮膚の神経 【到達目標】 第2章 皮膚の付属器官としての脂腺、汗腺、爪を理解できる 第3章 皮膚の循環系と神経系を理解できる			12	【授業単元】 第6章 ささまざまな皮膚疾患の原因と特徴 (化膿菌、ウイルス、真菌、衛生害虫による皮膚疾患) 【到達目標】 第6章 ささまざまな皮膚疾患の原因と特徴を理解できる		
5	【授業単元】 第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能 【到達目標】 第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能を理解する			13	【授業単元】 第6章 ささまざまな皮膚疾患の原因と特徴 (感染性の皮膚疾患の予防、毛と爪の疾患) 第6章の振り返り、練習問題 【到達目標】 第6章 ささまざまな皮膚疾患の原因と特徴を理解できる		
6	【授業単元】 第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能 第1章～第4章の振り返り、練習問題 【到達目標】 第1章～第4章の内容を確実に理解し問題を解くことができる			14	【授業単元】 皮膚科学全体の振り返り、練習問題 【到達目標】 今期皮膚科学で学んだ内容を確実に理解できる		
7	【授業単元】 中間試験 皮膚科学第1章から第4章までの範囲から○×問題20問 【到達目標】 ・問題の7割以上が答えることができる			15	【授業単元】 定期試験 皮膚科学第1章～第6章までの範囲から4択問題30問 【到達目標】 ・国家試験レベルの問題の7割以上が答えることができる		
8	【授業単元】 第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健 【到達目標】 第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健を理解できる			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点)/D評価(0～59点) E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	化粧品化学1	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	川名 修
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30(1)	開講区分 曜日・時間	前期・火曜日
<p>【授業の学習内容と心構え】(実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 美容師が用いる化粧品には様々な原料が用いられている。この授業では、まず全体の理解を深めるための化学の復習から始め、基礎的な化学知識を理解できるようにする。その後、化粧品原料の性質、機能、扱う上での注意点などを修得する。さらに人にも説明できるようになる。(化成品メーカーの開発に従事した教員がその知見を十分に活用しながら詳しく講義する。)</p>							
<p>【到達目標】 化粧品をその成分原料の機能から理解するための基礎化学を修得する。また、日常生活・美容業務で用いる化粧品の性状・機能がどの原料と関係するのか人に説明できるようになる。さらに、国家試験問題にも十分対応できるよう解答力を培う。</p>							
【使用教科書・教材・参考書】 化粧品化学(日本理容美容教育センター)				【授業外における学習】 身近な化粧品の成分原料に関心を寄せ、どのように用いられているかを調査する。			
回	授業概要			回	授業概要		
1	<p>【授業単元】基礎化学・物質の構成、物質の構造 【授業形態】講義 【到達目標】 身近な様々な物質の分類ができるようになる。また、基本的な物質の構造式を書けるようになり、その性質との関連を理解できる。</p>			9	<p>【授業単元】化粧品原料・水性原料 【授業形態】講義 【到達目標】 皮膚の構造に基づく保湿の機能を理解する。そのために必要な水性原料の代表的な物品を正しく理解する。</p>		
2	<p>【授業単元】溶液とコロイド 【授業形態】講義 【到達目標】 溶液とは何か、またコロイドと溶液の相違を理解する。また、具体的な化粧品と様々なコロイドとの関係を説明できるようになる。</p>			10	<p>【授業単元】化粧品原料・油性原料 【授業形態】講義 【到達目標】 油脂、ロウ、炭化水素などの油性原料の働きについて理解し、化粧品との関わりについて説明できるようになる。</p>		
3	<p>【授業単元】イオンと水素イオン指数 【授業形態】講義 【到達目標】 イオン生成の原理を理解する。また、水素イオン指数の意味を理解する。さらに水素イオン指数と様々な酸・塩基との関係について説明できるようになる。</p>			11	<p>【授業単元】化粧品原料・界面活性剤 【授業形態】講義 【到達目標】 界面活性剤の主要な働きについて理解する。また、4種の界面活性剤の特徴と化粧品にどのように活用されているかを正しく理解する。</p>		
4	<p>【授業単元】物質の変化と化学反応 【授業形態】講義 【到達目標】 物理反応と化学反応の違いを理解する。中和反応と塩、また緩衝溶液の働きについて理解する。</p>			12	<p>【授業単元】化粧品原料・色材 【授業形態】講義 【到達目標】 無機顔料、有機合成色素、光輝性顔料、天然色素の各物品の性質や用途について正しく理解する。</p>		
5	<p>【授業単元】酸化・還元反応 【授業形態】講義 【到達目標】 酸化・還元反応の定義を理解する。また、酸化・還元の見え方を用いてパーマネントの原理を説明できるようになる。</p>			13	<p>【授業単元】化粧品原料・その他の配合成分 【授業形態】講義 【到達目標】 品質保持に用いる配合成分、特定機能に用いる配合成分などの物品について正しく理解する。</p>		
6	<p>【授業単元】タンパク質・有機化合物 【授業形態】講義 【到達目標】 タンパク質をはじめとする高分子化合物の種類と性質を理解する。また、代表的な有機化合物の名称やその用途・性質などを理解する。</p>			14	<p>【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】 期末テスト(筆記テスト、復習・質問の時間を設けたのちに実施する。)</p>		
7	<p>【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】 中間テスト(筆記テスト、復習・質問の時間を設けたのちに実施する。)</p>			15	<p>【授業単元】 【授業形態】講義 【到達目標】 期末テストの誤ったところを正しく理解できるようになる。学んだ内容を振り返り分からないところを調査できるようになる。</p>		
8	<p>【授業単元】化粧品化学・化粧品概論 【授業形態】講義 【到達目標】 化粧品の法的な位置付け、社会的意義、法的な規制などを正しく理解する。また、化粧品の安定性や安全性に関する知識を整理し理解を深める。</p>			<p>【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(80~100点)/B評価(70~79点)/C評価(60~69点)/D評価(50~59点) E評価(出席不良・評価資格喪失)</p>			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	文化論 Cultural Theory	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	半沢幸子
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1	開講区分	前期
						曜日・時間	火曜・1・2・3・4限目
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
文化論教員資格認定を受けた教員が、美容文化論の講義をする。理容業、美容業の歴史を理解し、さらに髪型、化粧、服装の変遷流行を学ぶ。そこに見える風俗と時代背景とのつながりを読み解き、流行のメカニズムを知り、これからの時代のデザインを起こすヒントを得る。文化論は美容師国家試験科目であり意欲をもって取り組み修得するものとする。							
【授業を通じての到達目標】							
理容美容、および理容業美容業の成り立ちを知る。日本のファッション文化史を縄文時代から2000年代以降まで修得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
文化論教科書							
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 第1章総論 第2章日本の理容業・美容業の歴史 1・2節 【到達目標】 総論 理容業美容業の発生 江戸時代の理容業美容業について理解する。			9	【授業単元】 第3章 第5節 近世Ⅱ(江戸時代)化粧服装 【到達目標】 近世Ⅱ江戸時代の化粧服装について理解する。		
2	【授業単元】 第2章 日本の理容業美容業の歴史 3・4節 【到達目標】 近代の理容業美容業 現代の理容業美容業について理解する。			10	【授業単元】 第3章 第6節 近代(明治・大正・昭和20年まで) 【到達目標】 明治・大正・昭和20年までの髪型について理解する。		
3	【授業単元】 第3章ファッション文化史日本編 第1節 縄文・弥生・古墳時代 【到達目標】 縄文・弥生・古墳時代の髪型、化粧、服装について理解する。			11	【授業単元】 第3章 第6節近代(明治・大正・昭和20年まで) 【到達目標】 近代明治・大正・昭和20年までの化粧・服装について理解する。		
4	【授業単元】 第3章 第2節 古代(飛鳥・奈良・平安) 【到達目標】 古代 飛鳥・奈良・平安時代の髪型・化粧・服装について理解する。			12	【授業単元】 第3章 第7節現代Ⅰ(1945~1950年代)8節現代Ⅱ(1960~1970年代) 【到達目標】 現代1945年代~1950年代、現代1960年代~1970年代までの髪型・化粧・服装について理解する。		
5	【授業単元】 第3章 第3節 中世(平安末・鎌倉・室町・戦国) 【到達目標】 中世 平安末・鎌倉・戦国時代の髪型・化粧・服装について理解する。			13	【授業単元】 第3章 第9節現代Ⅲ(1980~1990年代)第10節現代Ⅳ(2000以降) 【到達目標】 現代1980年代~2000年以降の髪型・化粧・服装について理解する。		
6	【授業単元】 第3章 第4節 近世Ⅰ(戦国末・安土桃山) 【到達目標】 近世Ⅰ 戦国末・安土桃山時代の髪型・化粧・服装について理解する。			14	【授業単元】 第3章ファッション文化史日本編 全範囲の復習問題 【到達目標】 定期試験範囲の内容を理解し定期試験に備える。		
7	【授業単元】 第1章 第2章 第3章第4節までの範囲から出題 【到達目標】 中間テスト 正答率7割以上			15	【授業単元】 第3章 ファッション文化史日本編 全範囲から出題 【到達目標】 定期試験 正答率 7割以上		
8	【授業単元】 第3章 第5節近世Ⅱ(江戸時代) 【到達目標】 近世 江戸時代の髪型について理解する。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(80~100点)/B評価(70~79点)/C評価(60~69点)/D評価(0~59点) E評価(出席不良・評価資格喪失)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容技術理論 Technological theory	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	柴野 宏司
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 1	開講区分	前期 金曜日1～4限
学科・コース	美容師科						

【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

国家試験合格に必要な美容理論の知識を身に付けるために、30年のサロン実務経験の傍ら、化粧品メーカー研究所での製品開発アドバイザーやカットスクールインストラクターを経て、美容専門学校専任講師歴16年の教員が、正確な美容技術の裏づけとなる理論の講義をアクティブラーニングを取り入れながら授業を行う。

【授業を通じての到達目標】

1年次に学んだ美容技術理論1の理解を深め、国家試験に耐えうる知識を修得する。

【使用教科書・教材・参考書】

美容技術理論1

【授業外における学習】

回	授業概要	回	授業概要
1	【授業単元】 美容の正しい作業姿勢を知る 【到達目標】 正しい作業姿勢を理解する 美容技術に必要な人体各部の名称を述べられる 美容用具の名称を列挙し、その役割を説明できる	9	【授業単元】 パーマントウェーブの理論を知る 【到達目標】 パーマントウェーブ技術の流れを述べることができる
2	【授業単元】 シャンプーイングの概要を知る 【到達目標】 シャンプーイングの目的を知る シャンプー剤の成分を説明できる シャンプー技術の手順を述べることができる	10	【授業単元】 ヘアセッティングの種類と効果を知る 【到達目標】 ヘアカーリング技術の説明ができる
3	【授業単元】 リンス・コンディショナー・トリートメントの概要を知る 【到達目標】 リンス・コンディショナー・トリートメントの成分を説明できる スカルプトリートメントの種類と技法を述べることができる	11	【授業単元】 ヘアセッティングの種類と効果を知る 【到達目標】 ヘアウェービング技術の説明ができる その他のセッティング技術を説明することができる
4	【授業単元】 ヘアカットの目的と技法の特徴を知る 【到達目標】 ヘアカットの基礎理論を述べることができる シザーズによるカット技法を分類し、説明でき	12	【授業単元】 ヘアカラーリングの種類と特徴を知る 【到達目標】 ヘアカラーの種類を列挙できる 染毛のメカニズムを説明できる
5	【授業単元】 ヘアカットの目的と技法の特徴を知る 【到達目標】 レザーによるカット技法を分類し、説明できる	13	【授業単元】 ヘアカラーリングの種類と特徴を知る 【到達目標】 色の基本を分類し、説明できる 染毛技術の工程を述べることができる
6	【授業単元】 中間試験対策 【到達目標】 序章から4章までを振り返り、課題を発見し、中間試験に備える	14	【授業単元】 定期試験対策 【到達目標】 今までの学びを振り返り、理解を深め、定期試験に備える
7	【授業単元】 中間試験 【到達目標】 正答率60%以上	15	【授業単元】 定期試験対策 【到達目標】 正答率60%以上
8	【授業単元】 パーマントウェーブの理論を知る 【到達目標】 パーマ剤を分類できる パーマ剤のはたらきを説明できる		【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点)/D評価(0～59点) E評価(出席不良・評価資格喪失)
【特記事項】		●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

科目名 (英)	美容技術理論 (Technological theory)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	三村
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	前期
学科・コース	美容師科					曜日・時間	水曜1・2・3・4時限
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師としての現場経験、技術や知識においても後輩育成に力を入れてきた教員が、美容師国家試験の合格を目指すために現場の流れとリンクさせながら、知識を深めていく。							
【授業を通じての到達目標】							
美容技術理論におけるエステティック、ネイル、メイクアップ、日本髪、和装着付けの分野を理解できるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
美容技術理論2、筆記用具							
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 ・マッサージ理論、フェイシャルケア技術 【到達目標】 ・エステティック技術の概要を理解する。			9	【授業単元】 ・日本髪の各部の名称、日本髪の種類と特徴、日本髪と調和、かつらの取り扱い上の注意 【到達目標】 ・日本髪技術の概要を理解する。		
2	【授業単元】 ・フェイシャル及びデコルテマッサージ、フェイシャルパック、ボディケア技術 【到達目標】 ・エステティック技術の概要を理解する。			10	【授業単元】 ・着物の種類と選び方、帯と小物 【到達目標】 ・着付け技術の概要を理解する。		
3	【授業単元】 ・ネイル技術の種類、爪の構造と名称、爪のカット形状、ネイル技術と公衆衛生 【到達目標】 ・ネイル技術の概要を理解する。			11	【授業単元】 ・着物各部の名称、着付け技術 【到達目標】 ・着付け技術の概要を理解する。		
4	【授業単元】 ・ネイルケア、アーティフィシャルネイル 【到達目標】 ・ネイル技術の概要を理解する。			12	【授業単元】 各項目 確認問題実施&解説 【到達目標】 ・日本髪技術の概要を理解する。・着付け技術の概要を理解する。		
5	【授業単元】 ・メイクアップの道具、スキンケア、ベースメイクアップ 【到達目標】 メイクアップ技術の概要を理解する。			13	【授業単元】 確認問題実施&解説、総復習 【到達目標】 エステティック、ネイル、メイクアップ技術の概要を理解する。		
6	【授業単元】 ・アイメイクアップ、アイブロウメイクアップ、リップメイクアップ、まつ毛エクステンション 【到達目標】 メイクアップ技術の概要を理解する。			14	【授業単元】 確認問題実施&解説、総復習 【到達目標】 ・日本髪技術の概要を理解する。・着付け技術の概要を理解する。		
7	【授業単元】 各項目 確認問題実施&解説 【到達目標】 エステティック、ネイル、メイクアップ技術の概要を理解する。			15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 美容技術理論2の総復習		
8	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】 エステティック、ネイル、メイクアップ技術の概要を理解する。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価 (80~100点) / B評価 (70~79点) / C評価 (60~69点) / D評価 (0~59点) E評価 (出席不良・評価資格喪失)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容実習 カット・カラー	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	横田・長塚
	Beauty Practice	授業形態	実習	総時間 (単位)	60 2	開講区分	前期
学科・コース	美容師	曜日・時間: 火曜 1.2限 3.4限 水曜 1.2限 3.4限					
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
1年生の基礎で身につけたカット、カラーのテクニックを応用し、デザインしたスタイルを完成させることができるようになる							
【授業を通じての到達目標】							
様々なカット、カラーのデザイン、技術を習得する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
シラバス、コマシラバス、カットシート、ウィッグ、カット用具一式、カラー用具一式、ブロー用具一式、スタイリング剤(学校配布のもの)							
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 授業説明 ミディアムレイヤーのカットの展示、実技 【到達目標】 ミディアムレイヤーのカットを練習し習得する 使用ウィッグA			9	【授業単元】 カラー剤を使用しダブルカラーの施術をすることができる 【到達目標】 ダブルカラー、色の理解 使用ウィッグC 小テスト		
2	【授業単元】 ミディアムレイヤーのカットの説明、実技 【到達目標】 ミディアムレイヤーの仕上げ カットブロー60分で仕上げる 使用ウィッグB 小テスト			10	【授業単元】 コンテストに向けたデザインのカットの仕上げ確認 【到達目標】 コンテストに向けたデザインの確定 使用ウィッグE		
3	【授業単元】 ファッションカラーの基礎 【到達目標】 パーズン毛 リタッチのカラーを習得する 使用ウィッグA			11	【授業単元】 コンテストに向けたデザインのカット、カラーの確認 【到達目標】 コンテストに向けたデザインの確定することができる 使用ウィッグE		
4	【授業単元】 カラー剤を使用してウィッグを染める 【到達目標】 カラー剤を使用してムラなくウィッグを染めることができる 使用ウィッグA 小テスト			12	【授業単元】 メンズコンビネーションスタイルのカットの展示、実技 【到達目標】 メンズコンビネーションスタイルの練習、理解を深める 使用ウィッグC		
5	【授業単元】 ホイルワークの基礎 【到達目標】 ホイルワークを理解することができる 使用ウィッグA			13	【授業単元】 メンズコンビネーションスタイルの説明、実技 【到達目標】 メンズコンビネーションスタイルの仕上げる ことができる カットブロー60分 使用ウィッグD 小テスト		
6	【授業単元】 アシンメトリースタイルのカットの展示、実技 【到達目標】 アシンメトリーのカットを練習し習得する 使用ウィッグC			14	【授業単元】 前下りグラデーションボブのカットの展示、実技 【到達目標】 前下りグラデーションボブのカットを練習し理解する 使用ウィッグA		
7	【授業単元】 中間試験 アシンメトリースタイルの説明、実技 【到達目標】 アシンメトリースタイルの仕上げる ことができる カットブロー60分 使用ウィッグD			15	【授業単元】 定期試験 前下りグラデーションボブの説明、実技 【到達目標】 前下りグラデーションボブの仕上げる ことができる カットブロー60分 使用ウィッグ B		
8	【授業単元】 カラー剤を使用しホイルワーク、ブリーチの実技 【到達目標】 ホイルワーク、ブリーチの理解することができる 使用ウィッグ A			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(80~100点)/B評価(70~79点)/C評価(60~69点)/D評価(0~59点) E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】 ウィッグ A黒 B D茶 C金 Eコンテスト用ウィッグ							

科目名 (英)	美容実習(ワインディング) Beauty Practice	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	張 由香
学科・コース	美容師科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2	開講区分	前期
						曜日・時間	火曜・木曜 1.2.3.4時限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容室でのサロンワークや撮影ブライダルにも携わる講師が教える美容師免許取得と、現場で通用するワインディング技術を修得する。							
【授業を通じての到達目標】							
国試のタイム20分で正確に巻けるようにする。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 国試の規定内容を理解する。 【到達目標】 ワインディングの正しい巻き方をより正確にできる。			9	【授業単元】 センターの強化。 【到達目標】 センターを6分で巻くことができる		
2	【授業単元】 ブロッキングの強化。 【到達目標】 中心の巻き方をより正確にできる。			10	【授業単元】 両面の強化。 【到達目標】 全頭21分で巻くことができる		
3	【授業単元】 巻き方の間違いを直す。 【到達目標】 全頭23分で巻くことができる			11	【授業単元】 早巻きで姿勢を見直す。 【到達目標】 全頭20分で巻くことができる		
4	【授業単元】 姿勢と巻き方に気をつける。 【到達目標】 全頭22分で巻くことができる			12	【授業単元】 姿勢の見直し。 【到達目標】 全頭20分で巻くことができる		
5	【授業単元】 上巻きの強化。 【到達目標】 全頭22分で巻くことができる			13	【授業単元】 苦手な部分を修正していく。 【到達目標】 全頭20分で巻くことができる		
6	【授業単元】 下巻きの強化。 【到達目標】 全頭22分で巻くことができる			14	【授業単元】 巻き方を確認修正する。 【到達目標】 全頭20分で巻くことができる		
7	【授業単元】 制限時間で巻く。 【到達目標】 全頭22分で巻くことができる			15	【授業単元】 正確な巻き方で巻く。 【到達目標】 全頭20分で巻くことができる		
8	【授業単元】 国試の規定の採点を理解する。 【到達目標】 全頭21分で巻くことができる			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(80~100点)/B評価(70~79点)/C評価(60~69点)/D評価(50~59点) E評価(出席不良・評価資格喪失)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容実習(オールウェーブセッティング) Beauty Practice	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	半沢幸子
学科・コース	美容師科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時間	木・金曜 1・2・3・4限目
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
国家試験課題を長きに渡り指導する中で合格に導くノウハウを蓄積した教員が、実技第2課題であるオールウェーブセッティング技術を合格レベルに到達させる授業を行う。美容師への第一歩となる資格試験向け道具の準備や扱い方などの基礎技術を初め、課題完成を目指して7段のウェーブ構成を覚え、ヘアセットの理論と高い技術を習得する。							
【授業を通じての到達目標】							
オールウェーブセッティングの全頭完成を目指す。1段ずつの作り方を正確に覚え国家試験タイムと同じ25分で仕上げられるようになる。ウェーブ7段と左右中央のバランスを整え、正確なカールを正しい位置に作れるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 1年次の復習と格段の振り返り 【到達目標】 ローションを根本からしっかり塗布することができる。 国家試験同様に準備物をそろえる事ができる。 7段構成を理解する。			9	【授業単元】 ウェーブ7段の縦幅をそろえる 【到達目標】 ハーフウェーブが、フェイスライン側は狭く中央部分が5センチになるように指の向きを確認しながら作れるようになる。		
2	【授業単元】 4.5段目リフトカールの復習 【到達目標】 正しい手つきでループを巻き、浮かないようピンギンまで出来るようになる。			10	【授業単元】 カールをつくる手つきの確認 【到達目標】 コームの使い方とテンションのかけ方、大きさの整え方を覚える。		
3	【授業単元】 6段目メイポールカールの作り方 【到達目標】 メイポールカールの理論を理解し、作り方を覚える。			11	【授業単元】 リフトカールのステムとシェーブ・ピンギンの確認 【到達目標】 リフトカールシステム、角度、おさまりが理論通りに作れるようになる。		
4	【授業単元】 耳下ウェーブの整え方 【到達目標】 指の向きとコームの使い方を覚える。6、7段目のウェーブが浮かないように作れるようになる。			12	【授業単元】 耳下のウェーブとリッジの作り方 【到達目標】 7段目ウェーブの縦幅をバランスよく整えられるようになる。		
5	【授業単元】 7段目クロッキノールカールの作り方 【到達目標】 クロッキノールカールの理論を理解し、作り方を覚える。			13	【授業単元】 左右・中央エリアと分け取り線の整え方 【到達目標】 左・右・中央が3等分出来るように分け取り線位置を意識しながら作れるようになる。		
6	【授業単元】 ウェーブ7段の構成 【到達目標】 1段目から7段目まで1段ずつ正確に幅を合わせながら作り、カールエリアをきれいに空けられるようになる。			14	【授業単元】 全頭タイムアップ 【到達目標】 定期試験に向けてスピードアップを意識し25分で完成できるようにする。		
7	【授業単元】 中間試験全頭33分 【到達目標】 全頭が33分で完成出来るようになる。			15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 全頭25分で仕上げる。		
8	【授業単元】 コームの使い方、指の使い方の復習 【到達目標】 割れや重なりのないウェーブとリッジが作れるようになる。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点)/D評価(0～59点) E評価(出席不良・評価資格喪失)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容実習 (ヘアメイク) (Beauty Practice)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	飯野 大輔
学科・コース	美容師科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
					2	曜日・時間	木曜・金曜1・2・3・4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
国家試験実技科目の受験に関する実務経験10年以上の教員が担当。 国家試験第一課題の合格基準作品を作るために、国家試験課題スタイルと審査基準を理解し、それを作成するための主義とカットする上で必要な体勢などの基本動作を習得できるようにする。							
【授業を通じての到達目標】							
規定タイム内で、未完成とならない作品を作ることが出来るようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
				前回授業内容の復習。前回到達目標に到達できなかった場合は復習しながら到達しておく。(欠席・公欠などの場合も同様)			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 授業の内容説明および作業準備、作業手順の導入① 【到達目標】 毎回の道具セッティングができるようになる。 ノートを見ながらであれば導入箇所までの手			9	【授業単元】 7回目の復習とスピードアップ 【到達目標】 第3～第1までのカットを15分で出来るようになる。		
2	【授業単元】 作業手順の導入② 【到達目標】 ノートを見ながらであれば導入箇所までの手順がわかるようになる。			10	【授業単元】 全行程通して27分でカットする 【到達目標】 タイム27分で全頭のカットが出来るようになる		
3	【授業単元】 作業手順の導入③ 【到達目標】 ノートを見ながらであれば導入箇所までの手順がわかるようになる。			11	【授業単元】 全行程通して25分でカットする 【到達目標】 タイム25分で全頭のカットが出来るようになる		
4	【授業単元】 手順全体の復習 【到達目標】 ノートを見ながらであれば作業手順がわかるようになる。			12	【授業単元】 全行程通して22分でカットする 【到達目標】 タイム22分で全頭のカットが出来るようになる		
5	【授業単元】 フロントCUTまでの手順をスムーズに 【到達目標】 フロントのブロッキングを30秒で出来るようになる。フロントのカット手順をノートを見ずにスムーズに行えるようになる。			13	【授業単元】 全行程通して20分でカットする 【到達目標】 タイム20分で全頭のカットが出来るようになる		
6	【授業単元】 バックのアウトラインまでを正確に早く 【到達目標】 バックのブロッキングを45秒で出来るようになる。フロントのカット手順をノートを見ずにスムーズに行えるようになる。			14	【授業単元】 全行程通して20分で残り毛が無いようにカットする 【到達目標】 タイム20分で全頭のカットが残り毛が無い状態にカット出来るようになる		
7	【授業単元】 第3.2.1ブロックのカット手順復習とタイムアップ 【到達目標】 第3. 2. 1ブロックのカットをノートを見ずにスムーズに出来るようになる。			15	【授業単元】 採点項目の確認。チェックカットの導入 【到達目標】 ノートを見ながらであれば、採点項目がわかり、チェックカットも出来るようになる。		
8	【授業単元】 5, 6回目の復習とスピードアップ 【到達目標】 TOPカット～バックアウトラインまでのカットを10分で出来るようになる。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点)/D評価(0～59点) E評価(出席不良・評価資格喪失)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	就職講座 Careers Seminar	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	三村・岩本・神谷・尾崎
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	金1・2・3・4時限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師としての現場経験がある職員が、卒業後も必要となる一般常識や業界についてを講義形式で行う。							
【授業を通じての到達目標】							
学校行事を通して目標設定やスケジュール管理を行えるようになる。国家試験においても筆記試験の概要を理解し、必要な知識を身につけていく。また、就職活動や卒業後必要な知識や社会人としてのマナーを身につけることが出来るようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
筆記用具							
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 就職活動におけるルール、ITリテラシー 【到達目標】 就職活動において、必要な情報の集め方や必要書類についてなどを理解する。ITリテラシーを学び、インターネットについての正しい知識を身に付け行動できるようになる。			9	【授業単元】 コンセプトシート下書き 【到達目標】 カットコンテストに向けたコンセプトシートの下書きを完成させることが出来る。デザイン力や発想力、作品を完成させるためのプロセスを考えることにより、計画・スケジュール管理力を身につけることが出来るようになる。		
2	【授業単元】 就職活動におけるスケジュール管理 【到達目標】 就職活動状況表を通して、就職試験までの流れや必要物を確認・準備できるようにする。			10	【授業単元】 コンセプトシート清書 【到達目標】 カットコンテストに向けたコンセプトシートを完成させることが出来る。コンテスト当日のイメージ、作品を完成させるためのプロセスをより具体的に考えることが出来るようになる。		
3	【授業単元】 一般常識問題 総合① 【到達目標】 漢字・時事問題などの一般常識問題を通して、就職活動や卒業後に必要な知識を身につける。			11	【授業単元】 一般常識問題 上座について 【到達目標】 上座という日本のビジネスマナーとして、就職活動や卒業後に必要な知識を身につける。		
4	【授業単元】 一般常識問題 総合② 【到達目標】 漢字・時事問題などの一般常識問題を通して、就職活動や卒業後に必要な知識を身につける。			12	【授業単元】 一般常識問題 総合③ 【到達目標】 漢字・計算問題などの一般常識問題を通して、就職活動や卒業後に必要な知識を身につける。		
5	【授業単元】 一般常識問題 偉人・マナー、ベルリンピック競技決め 【到達目標】 歴史上の偉人や時事問題などの一般常識問題を通して、就職活動や卒業後に必要な知識を身につける。			13	【授業単元】 国試問題 美容技術理論③ 【到達目標】 美容技術理論分野における問題を通して、国家試験の問題傾向を理解するとともに知識を身につけていく。		
6	【授業単元】 国試問題 美容技術理論① 【到達目標】 美容技術理論分野における問題を通して、国家試験の問題傾向を理解するとともに知識を身につけていく。			14	【授業単元】 国試問題 美容技術理論④ 【到達目標】 美容技術理論分野における問題を通して、国家試験の問題傾向を理解するとともに知識を身につけていく。		
7	【授業単元】 国試問題 美容技術理論② 【到達目標】 美容技術理論分野における問題を通して、国家試験の問題傾向を理解するとともに知識を身につけていく。			15	【授業単元】 定期試験 (美容師国家試験 筆記模擬問題) 【到達目標】 美容師国家試験 筆記の概要を理解する。		
8	【授業単元】 中間テスト (美容師国家試験 筆記模擬問題) 【到達目標】 美容師国家試験 筆記の概要を理解する。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(80~100点)/B評価(70~79点)/C評価(60~69点)/D評価(0~59点) E評価(出席不良・評価資格喪失)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容総合技術3	必修 選択	選択 必修	年次	2	担当教員	桐谷 裕子
学科・コース	美容師科	授業形 態	実習	総時間 (単位)	60 2	開講区分 曜日・時間	月曜日 1、2、3、4限
【学習の目的】 (※実務経験のある教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ファッションショー、スチール、ブライダル等の仕事の実績を活かしクリエイティブなヘアメイクを意識したスタイルを習得しながら、基礎技術の向上を目指しクオリティーの高いヘアメイクができるようになる							
【授業を通じての到達目標】							
年代別のファッションの歴史を知ることにより、現代の技術との関連性や、ヘアメイクのテストを習得する事ができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
スタイリング剤				ヘアメイクやファッションを中心のスクラップブックを作る			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 年代別ヘアメイク 【到達目標】 30～40年代のヘアを学ぶ事により、ウェーブの技術や逆毛の 技術を身に付ける事ができる			9	【授業単元】 年代別ヘアメイク 【到達目標】 80年代のヘアを学ぶ事によりウェーブのバリエーションの技術を習得出来る		
2	【授業単元】 年代別ヘアメイク 【到達目標】 30～40年代のヘアを学ぶ事により、ウェーブの技術や逆毛の 技術を身に付ける事ができる			10	【授業単元】 コンテスト練習 【到達目標】 コンセプトシートを描く事で作成するヘアメイクデザインのイ メージを具体化する事ができる		
3	【授業単元】 年代別ヘアメイク 【到達目標】 50年代のヘアを学ぶ事により、夜会スタイルとボンパなどの逆毛 を使用したクラシカルなスタイルを習得できる			11	【授業単元】 コンテスト練習 【到達目標】 コンセプトシートのイメージを形にしながら、完成度を高めていく		
4	【授業単元】 年代別ヘアメイク 【到達目標】 50年代のヘアを学ぶ事により、夜会スタイルとボンパなどの逆毛 を使用したクラシカルなスタイルを習得できる			12	【授業単元】 コンテスト練習 【到達目標】 イメージ通りの作品をタイム内に完成する事ができる		
5	【授業単元】 年代別ヘアメイク 【到達目標】 60年代のヘアを学ぶ事によりビックヘアの作り込みを学び、コ ンテストやショーなどに役立つスタイルが作成できるようになる			13	【授業単元】 コンテストフィードバック 【到達目標】 コンテストでの作品を再度見直す事により、更なる作成のクオリ ティーを上げる事ができる		
6	【授業単元】 年代別ヘアメイク 【到達目標】 60年代のヘアを学ぶ事によりビックヘアの作り込みを学び、コ ンテストやショーなどに役立つスタイルが作成できるようになる			14	【授業単元】 中間テスト練習 【到達目標】 テストの内容を確認しながら練習する事により、テストの完成度を 高める事ができる		
7	【授業単元】 年代別ヘアメイク 【到達目標】 70年代のヘアを学ぶ事によりボヘミアンスタイルのテストを知 る事ができ、編み込みのバリエーションを習得出来る			15	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】 テスト練習での内容を時間内に仕上げる		
8	【授業単元】 年代別ヘアメイク 【到達目標】 70年代のヘアを学ぶ事により、ボヘミアンスタイルのテストを知る事が でき、編み込みのバリエーションを習得出来る			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(79～70点)/C評価(69～60点)/D評価(59 ～0点)E評価(出席不良・評価資格喪失)			
【特記事項】							

科目名 (英)	化粧品化学 Cosmetics and Chemistry	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	川名 修
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30(1)	開講区分 曜日・時間	後期・火曜日
【授業の学習内容と心構え】(実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
化粧品メーカーでの開発経験を有する講師が化粧品の素材に関する深い理解に基づいた具体的な講義を展開する。パーマントウェーブ用剤、染毛剤など美容師が業務上利用する様々な化粧品に関する性状や用い方の正しい理解を深めるためにこの科目を学ぶ。知識を深め、その活用方法の知見を深めることにより顧客からの信頼を得ることにつながるとともに、安全に仕事を進めていくための知恵を培うことができる。(化粧品メーカーでの開発経験を有する講師が化粧品の素材に関する深い理解に基づいた具体的な講義を展開する。)							
【到達目標】							
パーマントウェーブ用剤、染毛剤など業務で用いる化粧品に加え、日常生活で使う化粧品の性状、機能および危険性などを身近な人に説明できるようになる。また、消費者としても配合原料の性質を理解したうえで正しい商品選択ができる。さらに不明な点があれば自分で調査することができるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 化粧品化学(日本理容美容教育センター)				【授業外における学習】			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】皮膚清浄用化粧品 【到達目標】 皮膚清浄用化粧品・講義 石けんの作り方を説明できるようになる。目的に応じたいくつかの石けんについてその内容を説明できるようになる。			9	【授業単元】特殊化粧品 【到達目標】 サンケア製品について種類と機能について説明できるようになる。 制汗・防臭の方法について説明できるようになる。		
2	【授業単元】化粧水、クリーム、乳液 【到達目標】 化粧水、クリーム、乳液・講義 化粧水の種類と機能について説明できるようになる。クリーム乳液についても同様に説明できるようになる。			10	【授業単元】総合演習 【到達目標】 国家試験の過去問を解くことができる。要点を記憶し解答に生かすことができる。		
3	【授業単元】メイクアップ化粧品 【到達目標】 メイクアップ化粧品の種類と機能について説明できるようになる。 ポイントメイクアップ化粧品の種類と機能について説明できるようになる。			11	【授業単元】総合演習 【到達目標】 国家試験過去問を解くことができる。要点を記憶し解答に生かすことができる。		
4	【授業単元】シャンプー剤、スタイリング剤 【到達目標】 シャンプー剤、ヘアリンス剤の配合、機能について説明できるようになる。スタイリング剤の原料、機能について説明できるようになる。			12	【授業単元】総合演習 【到達目標】 国家試験過去問を解くことができる。要点を記憶し解答に生かすことができる。		
5	【授業単元】パーマ剤 【到達目標】 パーマの原理を図を用いながら説明できる。 パーマ剤1剤、2剤の配合を説明できるようになる。 パーマ剤の使用上の注意点を説明できるようになる。			13	【授業単元】総合演習 【到達目標】 国家試験過去問を解くことができる。要点を記憶し解答に生かすことができる。		
6	【授業単元】ヘアカラー剤 【到達目標】 ヘアカラー製品の種類と機能について説明できるようになる。 特に永久染毛剤については配合物品名も正確に説明できる。 育毛剤の内容について説明できるようになる。			14	【授業単元】 【到達目標】 期末テスト(筆記テスト、復習・質問の時間をとったのちに実施する。)		
7	【授業単元】 【到達目標】 中間テスト(筆記テスト、復習・質問の時間をとったのちに実施する。)			15	【授業単元】総合演習 【到達目標】 国家試験過去問を解くことができる。要点を記憶し解答に生かすことができる。 期末テストの誤ったところを正しく理解することができる。		
8	【授業単元】芳香製品 【到達目標】 芳香製品の種類と内容について説明できるようになる。 芳香製品と賦香率の順について説明できるようになる。 中間テストの誤った点を正しく理解できるようになる。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(80~100点)/B評価(70~79点)/C評価(60~69点)/D評価(50~59点) E評価(出席不良・評価資格喪失)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	文化論 (Beauty cultural Theory)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	半沢幸子
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 1	開講区分	後期
						曜日・時間	火曜 1・2・3・4限目
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
文化論教員資格認定を受けた教員が、美容文化論の講義をする。理容業、美容業の歴史を理解し、さらに髪型・化粧、服装の変遷流行を学ぶ。そこに見える風俗と時代背景とのつながりを読み解き、流行のメカニズムを知り、これからの時代のデザインをおこすヒントを得る。文化論は美容師国家試験科目であり意欲をもって取り組み修得するものとする。							
【授業を通じての到達目標】							
西洋のファッション文化史を古代エジプト～現代2010年まで修得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
文化論教科書							
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 第4章 1節古代エジプト 2節ギリシャ・ローマ 3節ゲルマン 第4節中世ヨーロッパ 【到達目標】 古代エジプト、ギリシャ・ローマ、ゲルマン 中世ヨーロッパの髪型、化粧、服装について理解する。			9	【授業単元】 第4章～第5章 練習問題・回答・解説 【到達目標】 正答率7割以上		
2	【授業単元】 第4章 5節近世Ⅰ(16世紀)6節近世Ⅱ(17世紀)7節近世Ⅲ(18世紀) 【到達目標】 近世16世紀～18世紀までの髪型、化粧、服装について理解する。			10	【授業単元】 全範囲 練習問題・回答・解説 【到達目標】 正答率7割以上		
3	【授業単元】 第4章 8節近代Ⅰ 9節近代Ⅱ 10節現代Ⅰ 【到達目標】 近代Ⅰ18世紀末～現代Ⅰ1920年代までの髪型、化粧、服装について理解する。			11	【授業単元】 全範囲 練習問題・回答・解説 【到達目標】 正答率7割以上		
4	【授業単元】 第4章 11節現代Ⅱ 12節現代Ⅲ 13節現代Ⅳ 【到達目標】 現代Ⅱ1930年代～現代Ⅳ1960年代までの髪型、化粧、服装について理解する。			12	【授業単元】 全範囲 練習問題・回答・解説 【到達目標】 正答率8割以上		
5	【授業単元】 第4章 14節現代Ⅴ 15節現代Ⅵ 16節現代Ⅶ 【到達目標】 現代Ⅴ1970年代～現代Ⅶ2010年までの髪型、化粧、服装について理解する。			13	【授業単元】 全範囲 練習問題・回答・解説 【到達目標】 正答率8割以上		
6	【授業単元】 第4章 1節～16節までの復習 第5章礼装の種類 【到達目標】 第5章礼装の種類を理解する。第4章ファッション文化史西洋編全範囲の復習をして中間試験の内容を理解する。			14	【授業単元】 全範囲 練習問題・回答・解説 【到達目標】 正答率9割以上		
7	【授業単元】 中間試験 【到達目標】 第4章ファッション文化史西洋編 1節～16節から出題			15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 第1章～第5章までの国家試験レベルの問題		
8	【授業単元】 第1章～3章 練習問題・回答・解説 【到達目標】 正答率6割以上			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点)/D評価(0～59点) E評価(出席不良・評価資格喪失)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容技術理論 Technological theory	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	三村
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	後期
						曜日・時間	金1・2・3・4時限
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師としての現場経験、技術や知識においても後輩育成に力を入れてきた教員が、美容師国家試験の合格を目指すために現場の流れとリンクさせながら、知識を深めていく。							
【授業を通じての到達目標】							
美容技術理論における各分野の美容用具、シャンプーイング、ヘアデザイン、ヘアカッティング、パーマントウェーピング、ヘアセッティング、ヘアカラーリングの分野を理解できるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
美容技術理論1の教科書、筆記用具							
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 美容技術における作業姿勢、人体各部の名称、美容道具 【到達目標】 ・第1章：美容道具分野の概要を理することが出来るようになる。			9	【授業単元】 ヘアセッティング② 【到達目標】 ・第6章：ヘアセッティングについて、ヘアカールの技術、ブロードライ、バックコーミング分野の概要を理することが出来るようになる。		
2	【授業単元】 シャンプーイング 【到達目標】 ・第2章：シャンプーイング分野の概要を理することが出来るようになる。			10	【授業単元】 ヘアカラーリング① 【到達目標】 ・第7章：ヘアカラーリングについて、ヘアカラーの種類、染毛のメカニズムの分野の概要を理することが出来るようになる。		
3	【授業単元】 ヘアデザイン 【到達目標】 ・第3章：ヘアデザイン分野の概要を理することが出来るようになる。			11	【授業単元】 ヘアカラーリング② 【到達目標】 ・第7章：ヘアカラーリングについて、色の基本、注意事項、ヘアカラーリング技術の分野の概要を理することが出来るようになる。		
4	【授業単元】 ヘアカッティング 【到達目標】 ・第4章：ヘアカッティング分野の概要を理することが出来るようになる。			12	【授業単元】 薬剤知識の復習 【到達目標】 ・パーマントウェーピング、ヘアカラーリングにおける薬剤知識について概要を理することが出来るようになる。		
5	【授業単元】 パーマントウェーピング① 【到達目標】 ・第5章：パーマントウェーピングについて、パーマントウェーブの理論、パーマ剤の分類・注意事項における分野の概要を理することが出来るようになる。			13	【授業単元】 ヘアカッティング復習 【到達目標】 ・第4章：ヘアカッティング分野の概要を理することが出来るようになる。		
6	【授業単元】 パーマントウェーピング② 【到達目標】 ・第5章：パーマントウェーピングについて、パーマントウェーブ技術における分野の概要を理することが出来るようになる。			14	【授業単元】 確認問題実施&解説、総復習 【到達目標】 第1章：美容道具分野から第7章：ヘアカラーリングまでの概要を理解することが出来るようになる。		
7	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】 第1章：美容道具分野から第5章：パーマントウェーピングまでの概要を理解することが出来るようになる。			15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 第1章：美容道具分野から第7章：ヘアカラーリングまでの概要を理解することが出来るようになる。		
8	【授業単元】 ヘアセッティング① 【到達目標】 ・第6章：ヘアセッティングについて、ヘアカールピニングまでの分野の概要を理することが出来るようになる。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価 (80~100点) / B評価 (70~79点) / C評価 (60~69点) / D評価 (0~59点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	美容実習 (国家試験課題) (Beauty Practice)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	飯野 大輔
学科・コース	美容師科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2	開講区分	後期
						曜日・時間	水曜 木曜、1・2限 3・4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
国家試験実技科目の受験に関する実務経験10年以上の教員が担当。 国家試験第一課題の合格基準作品を作るために、国家試験課題スタイルと審査基準を理解し、それを作成するための主義とカットする上で必要な体勢などの基本動作を習得できるようになる。							
【授業を通じての到達目標】							
規定タイム内で、国家試験に合格できる作品を作れるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
				前回授業内容の復習。前回到達目標に到達できなかった場合は復習しながら到達しておく。(欠席・公欠などの場合も同様)			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 タイム25分でチェックカットも含めカットする 【到達目標】 タイム内にカットが終了できるようになる			9	【授業単元】 タイム20分でヘムラインの減点の無い作品をカットする 【到達目標】 タイム内にヘムラインで減点されない作品をカットが終了できるようになる		
2	【授業単元】 タイム23分でチェックカットも含めカットする 【到達目標】 タイム内にカットが終了できるようになる			10	【授業単元】 タイム20分内で1発切りCUT 【到達目標】 タイム20分で新しいウイッグから全頭のカットが出来るようになる		
3	【授業単元】 タイム22分でチェックカットも含めカットする 【到達目標】 タイム内にカットが終了できるようになる			11	【授業単元】 タイム19分内で1発切りCUT 【到達目標】 タイム19分で新しいウイッグから全頭のカットが出来るようになる		
4	【授業単元】 タイム21分でチェックカットも含めカットする 【到達目標】 タイム内にカットが終了できるようになる			12	【授業単元】 タイム19分内で1発切りCUT 【到達目標】 タイム19分で新しいウイッグから全頭のカットが合格基準で出来るようになる		
5	【授業単元】 タイム20分でチェックカットも含めカットする 【到達目標】 タイム内にカットが終了できるようになる			13	【授業単元】 タイム19分内で1発切りCUT 【到達目標】 タイム19分で新しいウイッグから全頭のカットが合格基準で出来るようになる		
6	【授業単元】 タイム20分で長さ・残り毛の減点の無い作品をカットする 【到達目標】 タイム内に長さ・残り毛で減点されない作品をカットが終了できるようになる			14	【授業単元】 タイム18分内で1発切りCUT 【到達目標】 タイム18分で新しいウイッグから全頭のカットが合格基準で出来るようになる		
7	【授業単元】中間試験 衛生も意識しながらのカットをする 【到達目標】 タイム内に長さ・残り毛で減点されない作品をカットが終了できるようになる。衛生項目を意識しながら作業できるようになる。			15	【授業単元】定期試験 タイム18分内で1発切りCUT 【到達目標】 タイム18分で新しいウイッグから全頭のカットが合格基準で出来るようになる		
8	【授業単元】 タイム20分でレイヤーのつながりの減点の無い作品をカットする 【到達目標】 タイム内にレイヤーのつながりで減点されない作品をカットが終了できるようになる			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点)/D評価(0～59点) E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	就職講座 Careers Seminar		必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	三村・岩本・神谷・尾崎
	学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 水1・3、金2・3 時限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)								
美容師としての現場経験がある職員が、学校生活の中で卒業後必要な知識や社会人としてのマナーをグループワークなどを通して授業展開を実施する								
【授業を通じての到達目標】								
卒業に向けて、学校生活の振り返りや目標設定を行う。国家試験合格に向けて筆記試験の内容をウェブシステムなどを用いて理解していく また、社会人としての基本的なマナーや知識を身に付ける								
【使用教科書・教材・参考書】					【授業外における学習】			
筆記用具								
回	授業概要				回	授業概要		
1	【授業単元】 オリエンテーション 【到達目標】 後期の学校行事や卒業に向けて流れを把握することが出来る。				9	【授業単元】 J-webの活用① 【到達目標】 J-webの仕組みを理解し、美容師国家試験問題が解けるようになる。		
2	社会人基礎力、前に踏み出す力(アクション)主体性① 【到達目標】 社会人基礎力として求められる、前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力の3つの能力を理解する。主体性、働きかけ力、実行力を理解する。主体性におけるワークにより過去を振り返ることが出来る。				10	【授業単元】 J-webの活用② 【到達目標】 J-webの仕組みを理解し、美容師国家試験問題が解けるようになる。		
3	【授業単元】 前に踏み出す力(アクション)主体性② 【到達目標】 主体性におけるワークにより、残りの学校生活、卒業後における主体性の重要性を理解する。				11	【授業単元】 J-webの活用③ 【到達目標】 J-webの仕組みを理解し、美容師国家試験問題が解けるようになる。		
4	【授業単元】 考え抜く力(シンキング)① 【到達目標】 課題発見力、計画力、創造力を理解する。				12	【授業単元】 J-webの活用④ 【到達目標】 J-webの仕組みを理解し、美容師国家試験問題が解けるようになる。		
5	【授業単元】 チームで働く力(チームワーク) 【到達目標】 発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力を理解する。ストレスチェックを行い、自身のストレスとの向き合い方について考えることが出来るようになる。				13	【授業単元】 学生生活の振り返りと今後の目標。 【到達目標】 授業の振り返りとともに、年を明けてからのスケジュールを理解し、目標設定ができるようになる。		
6	【授業単元】 考え抜く力(シンキング)② 【到達目標】 計画力におけるワークを通して、学校生活における1ヶ月間の計画を立てることが出来るようになる。				14	【授業単元】 J-webの活用⑤ 【到達目標】 J-webの仕組みを理解し、美容師国家試験問題が解けるようになる。		
7	【授業単元】 会社での働き方 【到達目標】 美容業界における雇用形態を理解する。				15	【授業単元】 定期試験(美容師国家試験 筆記模擬問題) 【到達目標】 美容師国家試験 筆記試験の概要を理解し、美容技術理論の分野において理解を深める。		
8	【授業単元】 中間テスト 働きかけ力 【到達目標】 グループワークを通して働きかけ力を養い、最終的なグループの意見をまとめることが出来るようになる。				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(80~100点)/B評価(70~79点)/C評価(60~69点)/D評価(50~59点) E評価(出席不良・評価資格喪失)			
【特記事項】					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容総合技術 (Beauty politekhnizm)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	半沢幸子
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 1	開講区分	後期
						曜日・時間	月曜1・2限 3・4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
国家試験課題を長きに渡り指導する中で合格に導くノウハウを蓄積した教員が、実技試験課題の技術を合格レベルに到達させる授業を行う。美容師への第一歩となる美容師国家資格取得へ向け、合格を確実にする完成度の高い作品を作る。模擬試験を通じ準備物や本番の流れ、衛生用具とその取扱いを覚える。							
【授業を通じての到達目標】							
国家試験合格レベルの作品を全頭23分で仕上げる。本番同様の道具のセッティングや取扱い、作業の流れ等を覚えて、衛生マイナス点をなくす。							
				【授業外における学習】			
回	授業概要			回	授業概要		
1	正しい構成の確認 【到達目標】 1段ごとに確認しながら作り全体のバランスを整えることができる。			9	【授業単元】 【到達目標】		
2	【授業単元】 ウェーブとリッジ 【到達目標】 割れ、重なりのないウェーブ、重なりのないリッジができるようになる。			10	【授業単元】 【到達目標】		
3	【授業単元】 中央分け取り線とカールとの接続 【到達目標】 左右ウェーブと分け取り線を正確に作り中央部分につながりのあるカールをつくることできる。			11	【授業単元】 【到達目標】		
4	【授業単元】 カールの強化 【到達目標】 シェーブ、カールの大きさ、リフトカールステム、おさまり、ピンングが正しくできる。			12	【授業単元】 【到達目標】		
5	【授業単元】 全頭スピードアップ 【到達目標】 姿勢と目線を意識して全頭を15分で作る。			13	【授業単元】 【到達目標】		
6	【授業単元】 6段目7段目カールのおさまりとピンング 【到達目標】 目線を下げてネープにカールを作り浮かないようにピンングをする。			14	【授業単元】 【到達目標】		
7	【授業単元】 中間テスト 全体のバランスを整える。 【到達目標】			15	【授業単元】 【到達目標】		
8	【授業単元】 【到達目標】			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(80~100点)/B評価(70~79点)/C評価(60~69点)/D評価(0~59点) E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	美容実習 (国試カット) Beauty Practice	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	飯野 大輔
学科・コース	美容師科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2	開講区分	後期 曜日・時間 水曜・木曜、1・2・3・4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
国家試験実技科目の受験に関する実務経験10年以上の教員が担当。 国家試験第一課題の合格基準作品を作るために、国家試験課題スタイルと審査基準を理解し、それを作成するための手技とカットする上で必要な体勢などの基本動作を習得できるようにする。							
【授業を通じての到達目標】							
規定タイム内で、国家試験に合格できる作品を作れるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
				前回授業内容の復習。前回到達目標に到達できなかった場合は復習しながら到達しておく。(欠席・公欠などの場合も同様)			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 タイム25分でチェックカットも含めカットする 【到達目標】 タイム内にカットが終了できるようにする			9	【授業単元】 タイム20分でヘムラインの減点の無い作品をカットする 【到達目標】 タイム内にヘムラインで減点されない作品をカットが終了できるようにする		
2	【授業単元】 タイム23分でチェックカットも含めカットする 【到達目標】 タイム内にカットが終了できるようにする			10	【授業単元】 タイム20分内で1発切りCUT 【到達目標】 タイム20分で新しいウイッグから全頭のカットが出来るようになる		
3	【授業単元】 タイム22分でチェックカットも含めカットする 【到達目標】 タイム内にカットが終了できるようにする			11	【授業単元】 タイム19分内で1発切りCUT 【到達目標】 タイム19分で新しいウイッグから全頭のカットが出来るようになる		
4	【授業単元】 タイム21分でチェックカットも含めカットする 【到達目標】 タイム内にカットが終了できるようにする			12	【授業単元】 タイム19分内で1発切りCUT 【到達目標】 タイム19分で新しいウイッグから全頭のカットが合格基準で出来るようになる		
5	【授業単元】 タイム20分でチェックカットも含めカットする 【到達目標】 タイム内にカットが終了できるようにする			13	【授業単元】 タイム19分内で1発切りCUT 【到達目標】 タイム19分で新しいウイッグから全頭のカットが合格基準で出来るようになる		
6	【授業単元】 タイム20分で長さ・残り毛の減点の無い作品をカットする 【到達目標】 タイム内に長さ・残り毛で減点されない作品をカットが終了できるようにする			14	【授業単元】 タイム18分内で1発切りCUT 【到達目標】 タイム18分で新しいウイッグから全頭のカットが合格基準で出来るようになる		
7	【授業単元】 衛生も意識しながらのカットをする 【到達目標】 タイム内に長さ・残り毛で減点されない作品をカットが終了できるようにする。衛生項目を意識しながら作業できるようにする。			15	【授業単元】 タイム18分内で1発切りCUT 【到達目標】 タイム18分で新しいウイッグから全頭のカットが合格基準で出来るようになる		
8	【授業単元】 タイム20分でレイヤーのつながりの減点の無い作品をカットする 【到達目標】 タイム内にレイヤーのつながりで減点されない作品をカットが終了できるようにする			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(80~100点)/B評価(70~79点)/C評価(60~69点)/D評価(50~59点) E評価(出席不良・評価資格喪失)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	国家試験対策(オールウェーブセッティング) National exam preparation	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	半沢幸子
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 2	開講区分	後期
						曜日・時間	水・木曜 1・2・3・4限目
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
国家試験課題を長きに渡り指導する中で合格に導くノウハウを蓄積した教員が、実技第2課題であるオールウェーブセッティング技術を合格レベルに到達させる授業を行う。美容師への第一歩となる資格試験へ向け、前期に習得した基礎にのっとりさらに完成度の高い作品を作る。							
【授業を通じての到達目標】							
国家試験合格レベルの作品を全頭23分で仕上げる。本番同様の道具のセッティングや取扱い、作業の流れ等を覚えて、衛生マイナス点をなくす。							
				【授業外における学習			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 正しい構成の確認 【到達目標】 1段ごとに確認しながら作り全体のバランスを整えることができる。			9	【授業単元】 反復練習 【到達目標】 国家試験課題に沿って合格点がとれるようになる		
2	【授業単元】 ウェーブとリッジ 【到達目標】 割れ、重なりのないウェーブ、重なりのないリッジができるようになる。			10	【授業単元】 反復練習 【到達目標】 国家試験課題に沿って合格点がとれるようになる		
3	【授業単元】 中央分け取り線とカールとの接続 【到達目標】 左右ウェーブと分け取り線を正確に作り中央部分につながりのあるカールをつくることことができる。			11	【授業単元】 反復練習 【到達目標】 国家試験課題に沿って合格点がとれるようになる		
4	【授業単元】 カールの強化 【到達目標】 シェーブ、カールの大きさ、リフトカールシステム、おさまり、ピンングが正しくできる。			12	【授業単元】 反復練習 【到達目標】 国家試験課題に沿って合格点がとれるようになる		
5	【授業単元】 全頭スピードアップ 【到達目標】 姿勢と目線を意識して全頭を15分で作る。			13	【授業単元】 反復練習 【到達目標】 国家試験課題に沿って合格点がとれるようになる		
6	【授業単元】 6段目7段目カールのおさまりとピンング 【到達目標】 目線を下げてネープにカールを作り浮かないようにピンングをする。			14	【授業単元】 反復練習 【到達目標】 国家試験課題に沿って合格点がとれるようになる		
7	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】 全頭24分			15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 合格点をとることができる		
8	【授業単元】 反復練習 【到達目標】 国家試験課題に沿って合格点がとれるようになる			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点)/D評価(0～59点) E評価(出席不良・評価資格喪失)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	国家試験対策 National exam preparation	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	張 由香
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2	開講区分	後期
学科・コース	美容師科					曜日・時間	火・金1・2・3・4限

【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)

サロンワークを継続し、撮影ブライダルにも携わる講師、美容師免許取得と、現場で通用する技術を修得する。

【授業を通じての到達目標】

国試の規定に基づき、20分内で正確に仕上げる。

【使用教科書・教材・参考書】

【授業外における学習】

回	授業概要	回	授業概要
1	【授業単元】 姿勢と手付きを確認。 【到達目標】 全頭20分で巻くことができる	9	【授業単元】 国家試験課題の反復練習 【到達目標】 国家試験課題に沿って時間内に巻くことができる
2	【授業単元】 構成の見直し。 【到達目標】 国試の規定を確認し、規定に沿って巻くことができる	10	【授業単元】 国家試験課題の反復練習 【到達目標】 国家試験課題に沿って時間内に巻くことができる
3	【授業単元】 姿勢と手付きを確認。 【到達目標】 ワインディング姿勢のフォームを見直し、正確に巻くことができる	11	【授業単元】 国家試験課題の反復練習 【到達目標】 国家試験課題に沿って時間内に巻くことができる
4	【授業単元】 スピーアアップ 【到達目標】 全頭19分で巻くことができる	12	【授業単元】 国家試験課題の反復練習 【到達目標】 国家試験課題に沿って時間内に巻くことができる
5	【授業単元】 タイム内に巻く 【到達目標】 全頭19分で巻くことができる	13	【授業単元】 国家試験課題の反復練習 【到達目標】 国家試験課題に沿って時間内に巻くことができる
6	【授業単元】 タイム内に巻く 【到達目標】 全頭19分で巻くことができる	14	【授業単元】 国家試験課題の反復練習 【到達目標】 国家試験課題に沿って時間内に巻くことができる
7	【授業単元】 国家試験課題の反復練習 【到達目標】 国家試験課題に沿って時間内に巻くことができる	15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 国家試験課題に沿って合格点をとることができる
8	【授業単元】 国家試験課題の反復練習 【到達目標】 国家試験課題に沿って時間内に巻くことができる	【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(80~100点)/B評価(70~79点)/C評価(60~69点)/D評価(0~59点) E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	
【特記事項】			

科目名 (英)	国家試験対策(筆記2) National exam preparation	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	柴野 宏司
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (1単位)	開講区分	後期
						曜日・時間	水曜日1・3限、金曜日1・4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
国家試験筆記試験合格に向け、過去問題を確実に解答できるようになるため、筆記試験課題課目のうち、「運営管理」、「衛生管理」、「保健」、「美容技術理論」の教員資格を有する専任講師が、美容専門学校16年の授業経験に基づき、出題傾向に即した模擬問題と、過去問題を繰り返し行うことにより、問題解答のポイントを理解する。							
【授業を通じての到達目標】							
国家試験の出題傾向を知り、問題に慣れ、国家試験合格レベルの実力に達する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 現行教科書に即した模擬問題50問 【到達目標】 誤文訂正により、問題の理解を深める。			9	【授業単元】 現行教科書に即した模擬問題50問 【到達目標】 誤文訂正により、問題の理解を深める。		
2	【授業単元】 過去5年間に出题された過去問50問 【到達目標】 出題の傾向を知り、問題に慣れる。			10	【授業単元】 過去5年間に出题された過去問50問 【到達目標】 出題の傾向を知り、問題に慣れる。		
3	【授業単元】 現行教科書に即した模擬問題50問 【到達目標】 誤文訂正により、問題の理解を深める。			11	【授業単元】 現行教科書に即した模擬問題50問 【到達目標】 誤文訂正により、問題の理解を深める。		
4	【授業単元】 過去5年間に出题された過去問50問 【到達目標】 出題の傾向を知り、問題に慣れる。			12	【授業単元】 過去5年間に出题された過去問50問 【到達目標】 出題の傾向を知り、問題に慣れる。		
5	【授業単元】 現行教科書に即した模擬問題50問 【到達目標】 誤文訂正により、問題の理解を深める。			13	【授業単元】 現行教科書に即した模擬問題50問 【到達目標】 誤文訂正により、問題の理解を深める。		
6	【授業単元】 過去5年間に出题された過去問50問 【到達目標】 出題の傾向を知り、問題に慣れる。			14	【授業単元】 過去5年間に出题された過去問50問 【到達目標】 出題の傾向を知り、問題に慣れる。		
7	【授業単元】 現行教科書に即した模擬問題50問 【到達目標】 誤文訂正により、問題の理解を深める。			15	【授業単元】 現行教科書に即した模擬問題50問 【到達目標】 誤文訂正により、問題の理解を深める。		
8	【授業単元】 過去5年間に出题された過去問50問 【到達目標】 出題の傾向を知り、問題に慣れる。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(80~100点)/B評価(70~79点)/C評価(60~69点)/D評価(0~59点) E評価(出席不良・評価資格喪失)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			